

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2007-282935

(P2007-282935A)

(43) 公開日 平成19年11月1日(2007.11.1)

(51) Int. Cl.

A47C 7/50 (2006.01)

F I

A47C 7/50

A

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2006-115154 (P2006-115154)

(22) 出願日 平成18年4月19日 (2006.4.19)

(71) 出願人 000241500

トヨタ紡織株式会社

愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地

(74) 代理人 100078101

弁理士 綿貫 達雄

(74) 代理人 100085523

弁理士 山本 文夫

(72) 発明者 丹羽 良孝

愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地 トヨタ  
紡織株式会社内

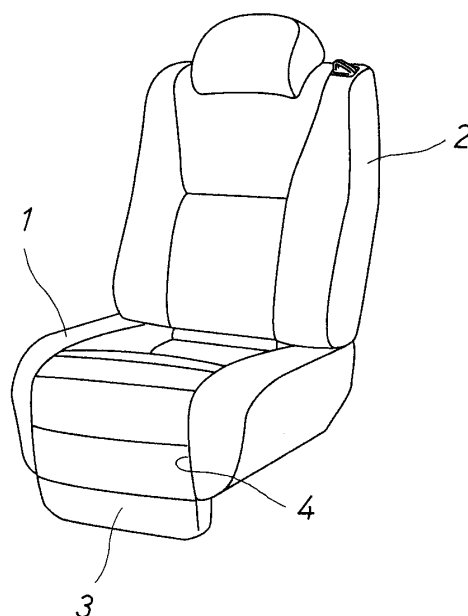
(54) 【発明の名称】 オットマン付車両用シート

## (57) 【要約】

【課題】オットマン機構の動作によりパッドが波打って外観不良を生じることのないオットマン付車両用シートを提供すること。

【解決手段】パッド表面に表皮を被せられたシートクッションがシート前方に延長されてオットマン機構を形成するとともに、このオットマン機構も前記表皮により一体的に覆われているオットマン付車両用シートであって、オットマン機構の動作により曲げられるパッドの曲がり部の内側に、シートの幅方向に延びるスリット7を設け、このスリット7はパッドが曲げられたとき余る肉に相当する量が除かれることにより形成され、かつパッドの曲げ部内側表面は補強処理されているものとした。

【選択図】図1



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

パッド表面に表皮を被せられたシートクッションがシート前方に延長され、オットマン機構を覆うようにされたオットマン付車両用シートにおいて、オットマン機構の動作により曲げられるパッドの曲がり部の内側に、シートの幅方向に延びるスリットを設け、このスリットはパッドが曲げられたとき余る肉に相当する量が除かれることにより形成され、スリットの最奥部を除いてパッドの曲げ部内側表面に補強処理されていることを特徴とするオットマン付車両用シート。

## 【請求項 2】

スリットがシートの前後方向に複数列設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載のオットマン付車両用シート。 10

## 【発明の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【0001】

本発明は、オットマン機構の動作によりパッドが波打って外観不良を生じることのないオットマン付車両用シートに関するものである。

## 【背景技術】

## 【0002】

従来から、シートクッションの前方に脚乗せ用のオットマン機構を昇降動自在に設けたオットマン付車両用シートが知られている。このようなオットマン機構は、シートクッションとは独立したパッド部材で形成したものが普通であるが、パッドの合わせ部においてパッド間の隙間が生じて見栄えが悪いという問題があった。そこで、例えば特許文献 1 や特許文献 2 に示されるように、オットマン機構のパッドをシートクッションパッドを延長して一体的に形成し、上記問題の解決を図ったものも提案されている。 20

## 【0003】

しかしながら、パッド部材をオットマン機構が上昇している位置を適正形状としておくと、オットマン機構 3 を下降させた場合にパッドの曲げ内側でパッドが波打って外観不良を生じるという問題点があり、逆に、パッド部材をオットマン機構が下降している位置を適正形状としておくと、オットマン機構 3 を上昇させた場合にパッドの曲げ外側でパッドが波打って外観不良を生じるという問題点があった。 30

## 【0004】

そこで、本発明者は曲げによって発生するパッドの波打ちを防止する対策として、パッドの曲げ内側にスリット状の切り込みを入れることを検討したが、この場合は切り込みを入れた部分のパッド強度が不足して使用感に劣り、品質が低下してしまうという新たな問題点が生じた。

## 【特許文献 1】実開平 5 - 39357 号公報

## 【特許文献 2】特開 2000 - 37255 号公報

## 【発明の開示】

## 【発明が解決しようとする課題】 40

## 【0005】

本発明は上記のような問題点を解決して、オットマン機構の動作によりパッドが波打って外観不良を生じること防止でき、またパッド強度が不足して使用感を損なうこともなく高品質を保証することができるオットマン付車両用シートを提供することを目的として完成されたものである。

## 【課題を解決するための手段】

## 【0006】

上記課題を解決するためになされた本発明のオットマン付車両用シートは、パッド表面に表皮を被せられたシートクッションがシート前方に延長され、オットマン機構を覆うようにされたオットマン付車両用シートにおいて、オットマン機構の動作により曲げられる 50

パッドの曲がり部の内側に、シートの幅方向に延びるスリットを設け、このスリットはパッドが曲げられたとき余る肉に相当する量が除かれることにより形成され、スリットの最奥部を除いてパッドの曲げ部内側表面に補強処理されていることを特徴とするものである。

【0007】

また、スリットがシートの前後方向に複数列設けられているが好ましく、これを請求項2に係る発明とする。

【発明の効果】

【0008】

本発明では、オットマン機構の動作により曲げられるパッドの曲がり部の内側に、シートの幅方向に延びるスリットを設け、このスリットはパッドが曲げられたとき余る肉に相当する量が除かれることにより形成されているものとしたので、オットマン機構の動作によりパッドが波打つことがなくなる。また、パッドの曲げ部内側表面は補強処理されているので強度不足になることはなく、しかもスリットの最奥部を補強処理していないものとしてあるため、パッドの曲げ形状が鋭角にならずに優れた使用感が得られることとなる。

【0009】

また、スリットをシートの前後方向に複数列設けた場合は、パッドの曲げ形状が滑らかとなってより優れた使用感が得られることとなる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0010】

以下に、図面を参照しつつ本発明の好ましい実施の形態を示す。

図1～2は、本発明に係るオットマン付車両用シートを示すもので、図1はオットマン機構が下降した状態を示す斜視図、図2はオットマン機構が上昇した状態を示す斜視図である。

【0011】

このオットマン付車両用シートは、シートクッション1とシートバック2とからなり、シートクッション1の前方には図示しないオットマン機構が設けられている。オットマン機構は公知のものであり、シートに着座した乗員の脚先端部を選択的に持上げ支持できるようにするもので、通常は脚支持部3がシートクッション下に格納されているが、必要時には脚支持部3がシートクッション下から前方に移動するように構成されている。本発明では、シートクッション1のパッド部が前方に延長されており、オットマン機構を覆うようにされている。従って、オットマン機構とシートクッション1との間に隙間が形成されることはなく、一体感のあるデザインを提供している。また、シートクッション1の両側部は下方に延設されて前端部に門型のゲート部4を形成しており、オットマン機構が下降した際に脚支持部3がゲート部4内へピッタリと格納されるよう構成されている。

【0012】

図3～4はシートパッドの断面図を示すもので、図3はオットマン機構が上昇した状態を示す断面図、図4はオットマン機構が下降した状態を示す断面図である。なお、図中5はシートクッションパッド、6はオットマンクッションパッドであり、このシートクッションパッド5とオットマンクッションパッド6とは一体的に形成されたものとなっている。オットマン機構の機構部は、図3においてオットマンクッションパッド6の下部に設けられているが、本発明と直接関係しないため、図示を省略している。

【0013】

そして本発明では、オットマン機構の動作により曲げられるパッドの曲がり部の内側には、シートの幅方向に延びるスリット7が設けられており、このスリット7はパッドが曲げられたとき余る肉に相当する量が除かれることにより形成されている。

このスリット7により、図4に示されるように、パッドが曲げられたとき曲がり部の内側にはパッドが余ってくるが、この余る肉に相当する量がスリット7により除かれているため、余った肉はこのスリット7内に収まることとなり、オットマン機構の動作によりパッドが波打つことがなくなる。

10

20

30

40

50

## 【 0 0 1 4 】

一方、スリット 7 の形成により薄肉化された箇所はパッド強度が不足して使用感に劣り、品質が低下してしまうが、本発明ではパッドの曲げ部内側表面を不織不布等の裏打ち材 8 で補強処理して強度を補っているため、強度不足の問題もない。

## 【 0 0 1 5 】

更に、裏打ち材 8 による補強処理は、前記スリット 7 の表面全部を覆うのではなく、スリット 7 の最奥部を除いて補強処理している。これにより、パッドの曲がり部外側の曲げ形状が鋭角になるのを防止して滑らかな曲線の曲げ形状とすることができ、優れた使用感を奏することとなる。

## 【 0 0 1 6 】

なお、以上のようなスリット 7 は、パッドの曲げ部において 1 個あれば効果的であるが、シートの前後方向に複数列設けておけば、パッドの曲がり部の曲げ形状がより滑らかになるので好ましい。

## 【 0 0 1 7 】

以上の説明からも明らかなように、本発明はオットマン機構の動作により曲げられるパッドの曲がり部の内側に、シートの幅方向に延びるスリットを設け、このスリットはパッドが曲げられたとき余る肉に相当する量が除かれることにより形成され、かつパッドの曲げ部内側表面は補強処理されている構造とすることにより、オットマン機構の動作によりパッドが波打って外観不良を生じること防止でき、またパッド強度が不足して使用感を損なうこともなく高品質を保証することができることとなる。

よって本発明は従来の問題点を解消した新規なオットマン付車両用シートとして、産業の発展に寄与するところ極めて大である。

## 【図面の簡単な説明】

## 【 0 0 1 8 】

【図 1】オットマン機構が下降した状態を示す斜視図である。

【図 2】オットマン機構が上昇した状態を示す斜視図である。

【図 3】オットマン機構が上昇した状態のシートパッドの断面図を示す断面図である。

【図 4】オットマン機構が下降した状態のシートパッドの断面図を示す断面図である。

## 【符号の説明】

## 【 0 0 1 9 】

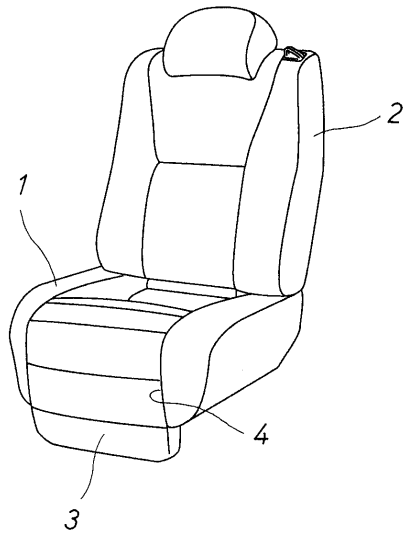
- 1 シートクッション
- 2 シートバック
- 3 脚支持部
- 4 ゲート部
- 5 シートクッションパッド
- 6 オットマンクッションパッド
- 7 スリット
- 8 裏打ち材

10

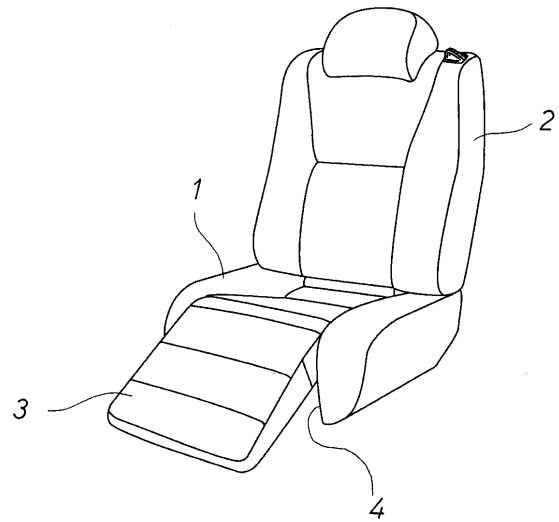
20

30

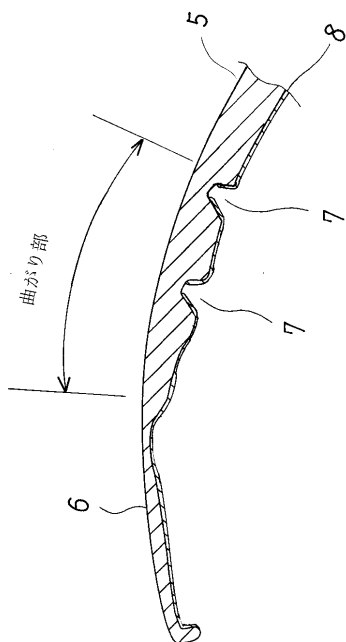
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 4】

